



新年を迎えて



一般財団法人日本ITU協会
理事長

やまかわ てつお
山川 鉄郎

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年2022年は春先にロシアによるウクライナ侵攻が始まり、大きな変動のある年となりました。いまだ、現地での戦闘は続き、終息の予測はつきませんが、紛争を停止し、破壊された街や国土を復興し、人々の生活を回復させなければなりません。また、この侵攻により世界中に及んでいるエネルギー問題、物流の混乱、物価高騰などについては英知を集め、平和的に解決し、世界中の人々の安全かつ平穏な社会生活・経済活動が強く望まれます。

新型コロナウイルス感染症については、各国での感染状況は様々であり、今後も動向を見守る必要がありますが、本年が新たな動きと大きな希望に満ちた良い一年となるよう期待しています。

昨年の当協会に関わるITU、APT関連の会合やイベントを振り返ってみますと、3月に世界電気通信標準化会議WTSA（スイス・ジュネーブ）が、6月に世界電気通信開発会議WTDC（ルワンダ・キガリ）が、9～10月に全権委員会会議PP-22（ルーマニア・ブカレスト）などが、現地開催されました。

特にPP-22では、電気通信標準化局長選挙において尾上誠蔵様（NTT）が見事に当選されました。心よりお祝い申し上げますとともに、今後のITU諸活動でのご活躍を祈念申し上げます。同じく実施された理事国選挙でも日本国は選出されました。当協会は本PP-22の現地事務局業務支援を行いました。

3月のWTSAではITU-T TSAG/SGの議長2名、副議長7名が、6月のWTDCではITU-D SGの副議長2名が日本から選出されました。今後の皆様のご活躍を祈念いたします。

当協会では5月17日には例年どおり「世界情報社会・電気通信日のつどい式典」を京王プラザホテルにて開催し、オンラインで配信いたしました。式典では、長期にわたりITUやAPTでの国際標準化活動をされた佐藤孝平様

（NICT）が総務大臣賞を受賞され、また、特別賞を受賞された浅川智恵子様（IBMフェロー/日本科学未来館館長/カーネギーメロン大学IBM特別功労教授）が記念講演を行いました。さらに、11名が功績賞を、18名が奨励賞を受賞されました。誠にありがとうございます。

本年は、通信分野での5G商用サービスの広い定着と進化が期待されます。この5GをはじめとするICT技術を通じての社会的課題の解決、更にはSociety5.0に向けての飛躍が望まれます。

ITU関連では、11月には無線通信総会RA/世界無線通信会議WRC（UAE・ドバイ）が開催されます。当協会は、これまでの経験を基に、ITUやAPTの会合やイベントについて関係の皆様と連携を取りながら、柔軟に対応を進めてまいります。

当協会関連では、2020年から実施しているデジタル海外展開プラットフォームJPD3業務について本年も継続予定です。また、2～3月には、新たな取組みとして、MWC（モバイル・ワールド・コンGRESS）バルセロナ2023への日本ブース出展支援を行い、日本のICT企業のグローバル展開をお手伝いする予定です。

当協会へのこれまでのご支援に感謝するとともに、本年も日本政府、賛助会員の皆様とITUとの十分な橋渡しができるよう、より一層の努力をしております。

本年の皆様のご健勝とご活躍を心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



全権委員会会議PP-22 尾上誠蔵様TSB局長選挙当選



日本ITU協会つどい記念式典「来賓と受賞者」